

第42回 北信越中学校総合競技大会 軟式野球競技

新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン

(第42回北信越中学校総合競技大会実施上のCOVID-19 感染拡大予防ガイドライン及びJ S B B感染予防対策ガイドラインに基づいて作成)

1 事前の対応

- ・ 風邪の症状（発熱、咳、鼻汁、咽頭痛、頭痛等）がある選手や引率者等は、大会に出席しない。
- ・ 各校の選手及び引率者は大会前後2週間分（計4週間分）の体調を記録した体調記録表を記録する。
- ・ 前日練習や大会当日の受付時に学校同行者体調記録表を提出するとともに、大会中、選手や引率者に体調不良がある場合は、大会本部に申し出る。
- ・ 各校は観客の名簿を作成し、事前に大会本部へ提出する。
- ・ 観客は、スタンドへの入場する際に検温するとともに、来場者体調記録表を提出する。また、来場後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに報告する。

2 会場における感染対策

- ・ 各チームは、会場に到着後、速やかに受付で検温を実施する。（選手・指導者全員）
※ 非接触型温度計で37.5℃以上の場合は、体温計で再測定する。
- ・ 競技およびウォームアップ実施以外では常時マスクを着用する。
- ・ マスクを外さざるを得ない時には、人と人の間隔ができるだけ2メートル（最低1メートル）空くようにする。
- ・ 競技役員はベンチ内、ロッカールーム、スタンド入り口付近等にアルコール消毒を設置する。
- ・ 各校は指定された場所に荷物を置く。
- ・ 各校は試合終了後、速やかにベンチ、ロッカールームから荷物を出す。次の試合のチームは球場内のベンチ外に荷物を置き、競技役員がベンチ、ロッカールームを消毒した後に荷物を入れる。
- ・ ベンチの出入りで、他校の選手同士が交わらないようにする。
- ・ 観客と選手が近付くことのないようにする。
- ・ トイレにおいて観客と選手が交わったり、マスクを外したりすることが考えられる。トイレ内であってもマスクを着用し、手洗いを入念に行う。

3 各校への確認事項

- ・ 道具類の消毒は、各校の責任において行う。
- ・ 攻守決定時の握手は実施しない。
- ・ 試合開始・終了時は、一塁線・三塁線にそれぞれ整列し、主将のみがホームベースを挟んでバッ

ターボックス付近に立つ。審判員の合図で一礼し、声は出さない。

- ・ 円陣を組む際には、距離を保つように心掛け、ハイタッチや抱擁は行わない。
(マスクを外しての声出し等は避ける。)
- ・ ミーティング等は、三密を避け、広い場所で行う。
- ・ 大声を出しての応援を避け、拍手で応援を行う。(メガホン等の使用は自粛する。)
- ・ 肩組等集団で動きを伴う応援は行わない。

4 大会会場への入場

- ・ 大会当日は受付を設置し、大会会場への入場者の把握を徹底する。
- ・ 大会会場へ入場できるのは以下に該当する人のみとする。

① 選手(登録選手以外の当該校の部員含む。)

② チーム関係者(顧問、部活動指導員、外部指導者)

③ 観客・・・1校40名までを上限とする。

登録・登録外選手の家族(原則、選手1名につき2名まで)

当該校の教職員(原則、2名まで)

④ 大会役員(審判、競技役員)

- ・ 各校は、学校同行者体調記録表を記入し、前日練習及び大会当日の受付で提出する。
- ・ 各校は、③に該当する人物の氏名一覧を提出する。また、事前に来場者体調記録表を配布し、観戦当日に受付で提出するよう伝えておく。
- ・ 入場を認めるのは、当該チームの試合のみとする。
- ・ 周辺地域での感染拡大の状況、当人の健康状態によっては、入場を断ることがある。
- ・ 入場時にはマスクの着用を徹底し、会場内での会話を極力控える。また、選手との接触も控える。
- ・ 応援については指定された場所で行う。(自チームのベンチ上付近)
- ・ 観客席では、ソーシャルディスタンスを保つ。